

[35\_1] 図書館情報 : 九州大学附属図書館報 :  
35(1)

<https://doi.org/10.15017/10673>

---

出版情報 : 図書館情報. 35 (1), pp.1-14, 1999-06-30. 九州大学附属図書館  
バージョン :  
権利関係 :

九州大学附属図書館報

# 図書館情報

The Kyushu University Library Bulletin

Vol. 35, No. 1 (1999)

## 目 次

・第40回貴重文物展観及び公開講演会を開催.....	1
・九州大学とソウル大学校の図書館交流協定調印式.....	4
・情報サロン図書館分室、工学部分室を開設.....	5
・『奈良絵本』画像データベースを公開.....	6
・本年度の研究開発室活動.....	7
・先輩から新入生のみなさんへ(Ⅱ).....	8
・平成11年度商議委員名簿.....	8
・平成10年度特別図書購入一覧.....	9
・平成10年度図書館利用統計.....	10
・自著紹介.....	13
・本学関係者著作寄贈図書.....	14

## 第 40 回

### 貴重文物展観及び公開講演会を開催

中央図書館では、5月11日の開学記念日(88周年)の一環として貴重文物展観(5月10日～5月16日)と公開講演会(5月11日)を開催しました。

「韓国を知る、日本を知る」-江戸時代から21世紀の国際交流を考える-をテーマにした本展観では、江戸時代の対馬藩に生き、日朝間の善隣関係樹立に奔走した儒学者・雨森芳洲の「誠信の交わり」をキーコンセプトとして日韓関係の貴重な資料60点余りを展示したほか、「広開土王碑拓本 第一面」の特別展示や、ソウル大学校中央図書館と本学附属図書館の交流協定(1999年3月26日締結)関係資料

を展示しました。

自治体の広報やマスコミ(テレビ、新聞)報道などで大きく紹介され、一般市民をはじめ学内外の大きな関心をよび、7日間の会期中に744名の参観者がありました。

また、11日には「命を五年縮候」-雨森芳洲と日韓文化交流-と題して、松原孝俊言語文化学部教授による公開講演会を開催しました。会場となった附属図書館視聴覚ホールの座席数を大幅に上回る320名の入場があり、立ち見もでる盛況ぶりでした。



会場で松原言語文化部教授から説明を受ける杉岡総長、渡邊事務局長、有川図書館長(左から)

展示会場



公開講演会



## アンケートの感想から

先生の情熱をひしひしと感じました。平和を祈ります。

日常生活の中でたくさんの韓国の人々に出会ってきました。日韓の間にどんな歴史があったのか。これからどんな歴史が作られていくのか。あまりにも近いお隣の国なのに何も知らないで生きてきた不思議さの中で図書館でこの企画のお知らせを見ました。博多に住んで博多ならではの研究がたくさんされることを期待いたします。

(福岡市 女性)

日韓両国の関係は理性的で客観的な考え方で見守り、長い年月をかけて誠信の交わりを続ける事が肝心。

(福岡市 男性)

なかなか時宜を得た企画で興味深く拝見しました。また近年大学が一般社会との交流の門戸を開く流れの一つとして評価したい。

(福岡市 男性)

日韓両国の歴史がいかに古くからのものが、基本的な構図がいかに歴史に根ざしているか、を学びました。相互尊重の精神は今日も意義を失っていません。

(福岡市 男性)

日韓間の文化交流が再び活発に行われつつある現在、江戸時代の日朝交流や雨森芳洲の姿勢を確認できる今回のこの文物展観は非常に興味のあることだと思います。

(福岡県 女性)

朝鮮との交流について努力したことに心を打たれます。自分の祖先にこのような人物がいたことを誇りに思います。

(福岡県 男性)

確認したい事実が、展示中の貴重な古文書の中に見つかりそうで、長年の望みがかなえられる可能性ができました。

(長崎県 男性)

雨森芳洲を肌で知りたいと思いました。

(山口県 女性)

非常に興味深い展示だった。韓国は日本のお隣の国で21世紀はアジアの時代といわれ、これから交流はどんどん深くなっていくと思われる。過去の日本のあやまちを深く反省し仲よく協力できたらよい。

(学生 女性)

資料が多く、何かを訴えるというよりは、見た人に何かを考えさせる場を提供しているように見えました。

(学生 男性)

通信使をまねた芸能を見たことがあるが、その原型を知り、またそれを見た人の反応を知ることができおもしろかった。朝鮮の風俗がどのように日本に影響を与えたのかについて、興味をもった。

(院生 女性)

中華の存在も含めた当時の朝鮮の事情等も知りたかった。具体的にどのような文化が優れていたのか知りたかった。

(院生 男性)

非常に良質の史料で、解説もすぐれていた。

(名誉教授 男性)

全体的に解説もわかりやすく良かった。「広開土王」拓本がみられるとは思ってなかったので、本日のよい収穫となった。

(教官 男性)

朝鮮側から見た芳洲像に関する史料があれば見てみたかった。

(教官 男性)

附属図書館だけで展示を終えるのではなく、もっと多くの福岡市民が見ることができるよう、市美術館や県博物館でも公開展示をしてはどうでしょう。すべての項目が市民の興味を引くトピックだと思います。

(教官 男性)

編集部より：紙面の関係で全てを掲載することはできませんが、多くの方々から貴重なご意見をいただきました。次回の展観・講演会開催の時に参考にさせていただきます。



## 九州大学とソウル大学校の図書館交流協定調印式

熊谷俊夫

本学附属図書館と大韓民国ソウル大学校中央図書館は、相互に図書館交流を推進するために図書館交流協定の締結を行った。

調印式は3月26日13時半から、ソウル大学校中央図書館において行われ、九州大学からは有川節夫附属図書館長、熊谷俊夫同事務部長及び松原孝俊言語文化部教授が出席し、ソウル大学校から秦教勳中央図書館長、高泳彩情報管理課長はじめ各課長及び担当職員数名が出席して行われた。

協定は、平等と互恵を基本とし、両大学図書館間の交流を促進し相互理解を深めることを目的とし、両大学の教官や学生の図書館利用、刊行物の交換、データベースの共同開発、図書館職員の交流などについての協力計画を推進することとされた。

昨秋、永年の念願であったソウル大学校に所蔵されている旧京城帝国大学蔵書に含まれる和本調査が秦教勳館長の英断によって許可され、九州大学古典籍調査団（団長、松原孝俊教授）による蔵書調査が行われ、3万余冊の和本のデータベース化に着手されたのを契機に交流が始まった。その後、本学附属図書館に於いて秦図書館長による講演会や附属図書館研究開発室研究会が開催されるなど交流が行われてきた（本誌第34巻第3号及び第4号参照）。協定の発効により今後さらに両大学図書館間の具体的な交流が深められる。

調印式の終了後、有川館長はじめ一行は李基俊ソウル大学校総長を表敬訪問し懇談を行った。

（くまがい としお 前附属図書館事務部長）



交流協定書に調印する  
有川附属図書館長(左)と秦ソウル  
大学校中央図書館長



交流協定書を交わす両館長



協定書調印後、李基俊  
ソウル大学校総長を表敬訪問し懇談する  
有川附属図書館長(右)

## 情報サロン図書館分室、工学部分室を開設

情報サロンは大型計算機センターの2階に、1998年10月開設されました。この施設の目的はインターネットを利用して教育・研究等の情報検索及び情報交換を支援するものです。本年4月には、そのサテライトとして中央図書館と工学部中央図書室の二ヶ所に情報サロン分室が開設されました。中央図書館では4月28日(水)から本格的にサービスを開始しました。図書館分室は従来のOPACコーナーを拡張して、16台のインターネットに接続されたパソコン(FMV-6300CX)を設置し、図書館がネットワークで提供している資料検索〔OPAC, Webcat, OVIDデータベース検索, NSCDNetデータベース検索, Web of Science など〕のすべてが利用できます。さらに、インターネットで提供されている、国内外のあらゆる情報を入手することができます。情報サロンでは、相談員が平日の14:00~20:00まで利用に関する質問等を受けていますので、どなたでも気軽に利用することができます。利用できる時間は図書

館の開館時間中です。(平日:9:00~20:00、土・日祝日:10:30~18:00)

情報サロン工学部分室は工学部等中央図書室内に開設され5月6日(木)からサービスを開始しています。WWW、図書館資料検索、電子メールなどが利用できます。また、同室には相談員が14:00~19:30まで常駐していますので、情報サロン利用についての質問やアドバイス等を受けることもできます。パソコン(FMV-6266NU3/W)は12台設置しており、ワープロや表計算ソフトも利用可能です。利用時間は平日の9:00~19:30で学生証または図書館利用者票が必要です。詳細は工学部等図書掛ホームページをご覧ください。

(<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/dep/tec/kogakubu.html>)

情報サロンについてのお問い合わせは、図書館分室(参考調査掛:2336 8256) 工学部分室(工学部等図書掛:3248 8774)までお願いいたします。



情報サロン図書館分室



情報サロン工学部分室

## 「奈良絵本」画像データベースを公開

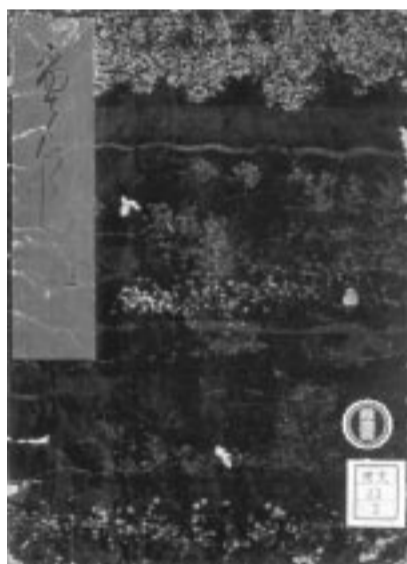
平成10年度の研究開発室の活動の一環である、国文学関係資料の画像及び書誌データベース作成に関する研究開発の成果として、平成11年3月末に「奈良絵本」画像データベースを図書館ホームページに公開しました。今回公開されたのは「奈良絵本」の中から学術的に貴重であり、また美術的にも価値のある資料及び奈良絵本以外の近世絵巻類を含む10点です。ホームページ上の貴重資料画像データベース

をご覧ください。

このデータベースの作成には、附属図書館研究開発室員の今西裕一郎文学部教授を中心に、文学部の大学院生の方々に研究開発室要員として携わっていただきました。

(図書館ホームページ：<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index-j.html>)

しゅてんとつし  
上巻表紙



しゅてんとつし  
挿絵  
8



竹とり物語  
下巻表紙



竹とり物語  
挿絵  
11



## 本年度の研究開発室活動

平成8年2月に附属図書館に設置された研究開発室では、従来の伝統的な図書館活動に加えて、知的情報サービスと情報発信を行う機関としての新たな役割を果たしていくため、学内の関係教官の協力を得て、毎年度テーマを決め研究開発を進めています。

本年度の研究開発事項及び室員は次のとおりです。

### 1 九州大学附属図書館における電子図書館システムの研究開発

室員 竹田正幸 大学院システム情報科学研究科  
助教授

本学における電子図書館機能の実現方式を研究するとともに、マルチメディアデータベース、分散データベース、全文検索及び自然言語処理などの各種要素技術の研究開発を行います。

### 2 九州大学附属図書館所蔵の貴重資料の画像及び書誌データベース作成に関する研究開発

室員 今西裕一郎 文学部教授

本学で所蔵する貴重資料の画像及び書誌データベース作成に当たっての対象資料の選定、入力方式、表示方式、検索法等に関する研究開発を行います。

### 3 檜垣文庫目録(冊子体目録)の効率的な利用方法に関する研究開発

室員 吉田昌彦 大学院比較社会文化研究科教授

本学六本松分館で刊行された檜垣文庫目録(全5冊)の画像データベース化と、一部古文書史料の電子化に関する研究開発を行います。

### 4 内外大学図書館の組織、運営及びサービスに関する調査研究

室員 柳原正治 法学部教授

九州大学のキャンパス移転後の新図書館建設計画策定並びに図書館サービスの高度化及び図書館業務改善に向けた諸外国における大学図書館の組織、運営及びサービスに関する情報収集と調査研究を行います。

### 5 韓国との間における図書館間交流の推進に関する調査研究

室員 松原孝俊 言語文化部教授

九州大学附属図書館はソウル大学校中央図書館との間に図書館交流協定を締結した。また、平成11年度に附属図書館が所蔵する韓国関連資料を基に日本と韓国との文化交流をテーマとした講演会、貴重文物展覧を実施した。これらに関する具体的な計画立案と実施に関する調査研究を行います。





## 先輩から新入生のみなさんへ(Ⅱ)

文学部文学研究科 修士課程2年 川口大輔

新入生の皆さん、九大へようこそ。大学生活が実り多きものとなる事を、まず心よりお祈り申し上げます。

さて、大学以前の教育はどちらかというと先生から教えられる事が中心でしたが、大学ではむしろ自ら学び取る事が求められます。そこで新入生への一言としては、常々言い古されていますが、「目標を持って」となりましょう。何を学ぶにせよ、目標は大切です。目標なき努力は無駄が多く、目標なき生活は散漫に流れやすいものです。よって皆さんには、大学生活を通し確固たる目標を見付けてもらいたく

思うものであります。既に目標のある方は、初心忘れず邁進努力なさってください。その先には、必ずや希望溢れる未来が待っている事でしょう。

大学図書館も、皆さんの力になれる存在であります。中央図書館だけでも蔵書は40万冊以上、その多様さは、とても書き尽くせるものではありません。学術研究には勿論、広く趣味上の関心にもお応えできるでしょう。中には、盛夏に涼を、厳冬に暖を求めて図書館へ来るだけの人もいます。それも結構。そのとき目についた本を手にとってみてください。きっと、新しい世界が広がっていますから。

## 附属図書館商議委員名簿

平成11年4月1日現在

委員長	有川節夫	図書館長(システム情報)	委員	横川洋	(農)教授
委員	井上尚英	医学分館長(医)	"	久原哲	( " ) "
"	高藤冬武	六本松分館長(言文)	"	菊地成朋	(人間環境) "
"	安藤保	(文)教授	"	中溝幸夫	( " ) "
"	今西裕一郎	( " ) "	"	迫江博昭	(システム情報) "
"	児玉寛	(法) "	"	竹尾正勝	( " ) "
"	植田信廣	( " ) "	"	高田和夫	(比文) "
"	久野国夫	(経) "	"	清水展	( " ) "
"	堀江康熙	( " ) "	"	岩崎克則	(数理研) "
"	田中武彦	(理) "	"	吉川敦	( " ) "
"	森信俊平	( " ) "	"	阿部弘	(総理工) "
"	恒吉正澄	(医) "	"	杉崎昌和	( " ) "
"	赤池紀生	( " ) "	"	木村元喜	(生医研) "
"	平田雅人	(歯) "	"	今脇資郎	(応研) "
"	白砂兼光	( " ) "	"	森章	(機能研) "
"	小栗一太	(薬) "	"	峰松修	(健セ) "
"	古賀登	( " ) "	"	徳見道夫	(言文) "
"	内野健一	(工) "			
"	桜井晃	( " ) "			

印は新任委員

## 平成10年度 特別図書購入一覧

学部	図書資料名	形態	出版社等
文学部	Verzeichnis der arabischen Handschriften / von W. Ahlwardt .10 Bde. Reprint .1980 . (アラビア語写本目録 全10巻)	図書 (リプリント)	Georg Olms
	美術新報 復刻版 1巻(明治35)~20巻(大正9) 総目次(全13冊)	ジャーナル (復刻版)	八木書店
人間環境学研究所	社会教育 第26巻~35巻、別巻1	ジャーナル (復刻版)	大空社
	Contemporary Social Issues : A Bibliographic Series. Nos .1 - 48 (1985 - 1997) (現代の社会的争点)	図書	Reference & Research Service
	Journal of Cross - Cultural Psychology. Vol 21 - 27 (1990 - 1996) (比較文化心理学研究)	ジャーナル バックナンバー	Sage Pub. Press
法学部	映像で語るわたしたちの日本国憲法 全30巻	ビデオ (VHS)	同朋舎
	Yearbook : Commercial Arbitration / International Council for Commercial Arbitration. Vol .1 (1976) - 22 (1997) (国際商事仲裁法年報)	バックナンバー	Kluwer Law International
	Criminology : an interdisciplinary journal. Vol 26 - 35 (1988 - 1997) (犯罪学雑誌)	バックナンバー (Cloth)	American Society of Criminology
経済学部	国民経済研究協会戦後復興期経済調査資料 国民経済研究協会編・監修 全20巻	図書	日本経済評論社
	生産力拡充計画資料 / 原朗、山崎志郎編集・解説 全9巻	図書	現代資料出版 東出版(発売)
比較社会文化研究科	A Reprint Series of Books Relating to the English Language / ed. by Takanobu Otsuka. Vol .1 - 21 (1968 - 1971) (英語文献翻刻シリーズ 全21巻)	図書 (リプリント)	南雲堂
	Atlas of Languages of Intercultural Communication in the Pacific, Asia, and the Americas. Vol .1 - 3 (1996) (異文化間コミュニケーション言語地図 全3巻)	図書	Mouton de Gruyter
	Encyclopedia of Language and Education. Vol .1 - 8 (1997 - 1998) (言語と教育百科事典 全8巻)	図書	Kluwer
中央図書館	Internationale Bibliographie der Zeitschriftenliteratur aus allen Gebieten des Wissens. Bd 33 (1997)	冊子体	F. Dietrich Verl.
	国書目録叢書 第1巻~30巻 第1期 全30巻	図書	大空社
	The Kluwer International Handbooks of Education Series. Vol 2 - 3 5 . (国際教育ハンドブックシリーズ 全6冊)	図書	Kluwer Academic

## 平成10年度 図書館利用統計

	中央図書館	医学分館	六本松分館	合計
入館者数 (学外者：内数)	308,708 (34,336)	151,843 (13,033)	180,080 (328)	640,631 (47,697)
館外貸出冊数	49,868	35,850	34,268	119,986
内訳 { 教職員	2,075	9,226	9,232	20,533
{ 学生・院生等	47,407	26,624	25,036	99,067
{ 学外者	386	0	0	386
レファレンス件数	5,904	14,048	10,201	30,153
内訳 { 教職員	1,070	7,727	1,938	10,735
{ 学生・院生等	3,228	5,619	8,131	16,978
{ 学外者	1,606	702	132	2,440
内訳 { 所在調査	3,302	4,166	4,319	11,787
{ 事項調査	437	5,899	99	6,435
{ 利用指導・その他	2,165	3,983	5,783	11,931
オンライン情報検索 サービス件数	136	405	-	541
内訳 { DIALOG	43	18	-	61
{ JOIS	72	328	-	400
{ NACSIS - IR	21	59	-	80
CD - ROM 情報検索件数	151,304	25,253	70	176,627
文献複写サービス件数	67,559	173,667	9,416	250,642
{ 学内者の複写件数	48,614	108,261	8,916	165,791
{ 学外からの受付件数	14,837	48,637	-	63,474
{ 国内	14,837	36,297	-	51,134
{ 国外	0	12,340	-	12,340
{ 学外への依頼件数	4,108	16,769	500	21,377
{ 国内	4,080	16,735	484	21,299
{ 国外	28	34	16	78
図書・雑誌の相互貸借件数	1,709	129	425	2,263
{ 他機関への貸出件数	1,171	51	-	1,222
{ 他機関からの借用件数	538	78	425	1,041
{ 国内	538	78	410	1,026
{ 国外	0	0	15	15

# 人事異動

(平成11年3月～平成11年5月)

## (中央図書館)

- 3.31 田嶋 秀晃 (情報サービス課図書館専門員) 定年退職  
 4.1 佐田 忠鴻 事務部長(長崎大学附属図書館事務部長から)  
 " 熊谷 俊夫 京都大学附属図書館事務部長へ(事務部長)  
 " 舟越 俊允 情報サービス課専門員(佐賀大学附属図書館専門員から)  
 " 大山 健一 情報管理課庶務掛長(大分医科大学総務部庶務課職員係長から)  
 " 早田 博美 情報管理課会計掛長(工学部等経理課第一用度掛長から)  
 " 藤原 愛子 情報管理課図書情報掛(情報システム課データベース掛から)  
 " 古賀 幸成 情報サービス課閲覧掛長(情報システム課電子情報掛長から)  
 " 齊藤 亜矢 情報サービス課閲覧掛(事務補佐員)(採用)  
 " 阿部 千宏 情報サービス課相互利用掛(情報管理課図書情報掛から)  
 " 大村 明美 情報サービス課参考調査掛(理学部図書掛から)  
 " 一木 隆子 情報システム課データベース掛(情報サービス課相互利用掛から)  
 " 益森 治巳 情報システム課電子情報掛長(法学部図書掛長から)  
 " 青木生美子 総務部人事課第五任用掛長へ(情報管理課庶務掛長)  
 " 栗山 成昭 大型計算機センター共同利用掛長へ(情報管理課会計掛長)  
 " 高木 貞治 八代工業高等専門学校庶務課図書係長へ(情報サービス課参考調査掛)

## (医学分館)

- 3.31 八尋 和子 (受入目録掛) 定年退職  
 4.1 尾上 五男 受入目録係長(教育学部等図書掛長から)  
 " 中野由紀夫 参考調査掛長(鹿児島大学附属図書館情報管理課資料受入掛長から)  
 " 伊勢脇純子 受入目録掛(採用)  
 " 内田智恵子 相互利用掛(採用)  
 4.30 中野 佳子 (参考調査掛)(事務補佐員) 辞職  
 5.1 池尻 純子 参考調査掛(事務補佐員)(採用)

## (六本松分館)

- 3.31 大藪 幸子 (受入掛) 辞職  
 4.1 深川 光郎 受入掛長(情報サービス課閲覧掛長から)  
 " 井上 久宏 佐賀大学附属図書館専門員へ(受入掛長)  
 " 児玉 浩憲 閲覧掛(医学分館相互利用掛から)  
 " 篠田 繁寿 受入掛(工学部等図書掛から)

## (文学部)

- 4.1 久原 明美 図書掛(経済学部図書掛から)  
 " 秋月 和美 図書掛(農学部図書掛から)  
 (旧姓藤本)

## (教育学部等)

- 4.1 山崎 弘人 図書掛長(医学分館受入目録掛長から)

## (法学部)

- 3.31 吉村 尹江 (図書掛) 定年退職  
 4.1 永井 謙 図書掛長(総理工学研究科等教務課図書掛長から)  
 " 我部 康子 図書掛(経済学部図書掛から)  
 " 池田 文保 図書掛(文学部図書掛から)

## (経済学部)

- 4.1 吉松 直美 図書掛(医学部附属病院医療情報部から)  
 (旧姓島田)  
 " 堀 優子 図書掛(農学部図書掛から)

- 4.1 因幡 園子 図書掛（医療技術短期大学部学務掛主任から）  
 " 古賀由紀子 文部省大臣官房調査統計企画課併任（図書掛）  
 （理学部等）  
 4.1 吉松 伸恵 図書掛（法学部図書掛から）  
 （工学部等）  
 4.1 浅岡 宏信 総務課図書掛（六本松分館閲覧掛から）  
 " 国武 敬 総務課図書掛（建設都市工学（水工）図書室）  
 " 岡本 順子 総務課図書掛（応用理学図書室）  
 " 伊藤美智子 総務課図書掛（航空工学図書室）  
 （農学部）  
 4.1 田中由紀子 図書掛（文学部図書掛から）  
 " 佐藤久美子 図書掛（採用）  
 （総合理工学研究科等）  
 4.1 三浦 誠 教務課図書掛長（医学分館参考調査掛長から）

## 図書館日誌

（平成11年3月～平成11年5月）

- 3.8 情報通信基盤センターに関する打ち合わせ（中央図書館）  
 10 大学等における情報発信についてのワークショップ（学術情報センター）  
 10 福岡市総合図書館運営審議会（福岡市総合図書館）  
 11 レファレンス・ケースDB構築検討ワーキング・グループ会議（中央図書館）  
 26 ソウル大学校中央図書館との交流協定締結（大韓民国）  
 4.12 平成11年度第1回館長会議  
 12 第169回附属図書館商議委員会  
 12 将来構想に関する検討委員会  
 12 平成11年度第1回研究開発室会議  
 14 図書館業務ヒアリング（15日まで）（中央図書館）  
 19 第3回ラテン語研修会（中央図書館）  
 22 第29回九州地区国立大学図書館協議会（佐賀大学）  
 23 第50回九州地区大学図書館協議会総会及び50回記念式典、祝賀会（佐賀大学）  
 27 図書館情報編集委員会  
 28 図書館情報サロン設置披露会（中央図書館）  
 5.10 第40回貴重文物展観（16日まで）（中央図書館）  
 11 公開講演会「命を五年縮候」（中央図書館）  
 （講師：言語文化部 松原孝俊教授）  
 17 平成11年度第2回研究開発室会議  
 17 将来構想に関する検討委員会  
 20 日本医学図書館協会総会シンポジウム（アクロス福岡）  
 20 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（福岡工業大学）  
 21 全学図書系掛長会議  
 25 国立大学附属図書館事務部課長会議（東京医科歯科大学）  
 26 国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会（東京大学）  
 26 著作権特別委員会（第2回）（東京大学）  
 26 国立大学図書館協議会・常務理事会（東京大学）  
 27 図書館電子化システム特別委員会（東京大学）  
 27 国立大学図書館協議会・理事会（東京大学）  
 28 国立大学図書館協議会と学術情報センターとの業務連絡会（学術情報センター）

# 自 著 紹 介

**古江増隆 (医学部教授)**

## 『薬物障害ガイド： 発症メカニズムと原因薬物』

[ 医学分館 QZ 42 / Y 16 / 1999 ]

高齢化社会、高度医療が進む今日、一人の患者が罹患している疾病数は実に多い。また一人の患者がそれぞれの疾病のために2～3の診療所を受診していることはありふれた現象となってきた。それに伴い、多種類の薬物療法が一人の患者に行われ、薬物療法を行っている患者に新たな障害が出現したとき、薬物による副作用を常に疑う必要に迫られている。一方、医師は副作用とその発現メカニズムを熟知し、薬物による副作用の発生を未然に防ぐ努力を要求されている。本書はより実地診療に役立つようにとの考えから、「薬物から障害」ではなく「障害から薬物」が参照できるように工夫し、薬物障害を臓器別に取り上げ、その発症メカニズム、臨床症状を解説し最後に原因薬物の一覧表をつけた。診療に必須の薬物障害の情報をコンパクトにまとめあげている実用書である。

**伊東弘文 (経済学部教授)**

## 『ドイツ財政調整発展史： 戦後から統一まで』

[ 中央図書館 342 34 / R 27 ]

本訳書はドイツ・マグデブルク大学のW・レンチュ教授の原著になるもので、戦後ドイツにおける財政調整の発展史をたどったものである。原著タイトルを直訳すれば『財政基本規範と財政調整』とでもなる。原著に補論を二つ加え、ごく最近までをフォローしたので、日本語版は「戦後より統一まで」というより、「戦後より現代まで」というべきで、ドイツ語版とも違うユニークなものとなった。

いずれにしろ、本書の主題は「財政調整」である。

財政調整とは、「財政を対象とする財政」であり、第二次の財政である。具体的に言おう。戦後ドイツは「貧困」州と「富裕」州の格差が著しく、「富裕」州も戦災の程度の相違があり、しかも複数国の占領下におかれているというややこしい状況にあった。州相互間の財政調整の独自のやり方がそこから生まれた。「共同税」「水平的財政調整」「連邦補充交付金」等々である。

本書は、1990年のドイツ統一とその後の試練を含む、人と制度が織りなす財政調整の発展のドラマである。

**原 一広 (大学院工学研究科助教授)**

## 『機能性高分子ゲルの 開発技術』

[ 中央図書館 578 / Ki 46 ]

寄贈者が研究を行っている高分子ゲルは、日常生活における応用では吸水性に着目したサニタリー商品等の急速な普及により注目されている。この吸水性以外にも高分子ゲルはバラエティーに富んだ機能を持っており、医療、医薬、食品、土木、バイオエンジニアリング、スポーツ関連など様々に応用されている。それに伴い、高分子ゲルの研究も基礎・応用の様々な領域に渡って行われており、1995年10月にこの分野の研究を概観する書物の1つとして「機能性高分子ゲルの開発と最新技術」が刊行された。寄贈者もその一部を執筆したが、この度、普及版として発行されたので寄贈させていただく。構成は、構造、吸水性、力学特性、感熱特性等の基本特性等の基礎的な事項と、サニタリー用品、塗料、分離機能膜、医用材料、緑化資材等への応用等の応用・実用的な事項とから成り、各分野の研究者により詳述されている。



## 本学関係者著作寄贈図書

蔵書の充実を図るため、図書館では著作物刊行の節は一部ご寄贈くださるようお願いしております。今回は次の教官からご寄贈いただきました。厚く御礼申し上げます。

### 〔中央図書館〕

中留武昭（大学院人間環境学研究科教授）  
「学校文化を創る校長のリーダーシップ：  
学校改善への道」  
中留武昭編著  
エイデル研究所 1998  
〔中央図書館 374 / G 16 / A 〕

石川捷治（法学部教授）  
「図説判決原本の遺産」  
林家礼二、石井紫郎、青山善充編  
五十川直行、伊藤昌司、植田信広、  
児玉寛分担執筆  
信山社出版 1998  
〔中央図書館 327 .02 / Z 6 〕  
〔六本松分館 327 .02 / H 48 / 58981876 〕

本間義人（大学院比較社会文化研究科教授）  
「国土計画を考える：開発路線のゆくえ」  
本間義人著  
中央公論新社 1999  
〔中央図書館 601 .1 / H 85 〕  
〔六本松分館 中公新書 〕

原 一広（大学院工学研究科助教授）  
「機能性高分子ゲルの開発技術」  
長田義仁、王林監修  
シーエムシー 1999  
〔中央図書館 578 / Ki 46 〕

牛島和夫（大学院システム情報科学研究科教授）  
「二十一世紀豊かな情報化社会の実現を  
願って：教育の視点から」  
情報処理学会情報処理教育委員会編  
情報処理学会 1999  
〔中央図書館 375 / J 66 〕

### 伊東弘文（経済学部教授）

「ドイツ財政調整発展史：戦後から統一まで」  
ヴォルフガング・レンチュ著  
伊東弘文訳  
九州大学出版会 1999  
〔中央図書館 342 34 / R 27 〕

### 〔医学分館〕

古江増隆（医学部教授）  
「薬物障害ガイド：発症メカニズムと  
原因薬物」  
古江増隆、高市憲明編集  
監修：藤田敏郎  
南山堂 1999  
〔医学分館 QZ 42 / Y 16 / 1999 〕

### 信友浩一（医学部教授）

「ヘルス・コミュニケーション：  
これからの医療者の必須技術」  
ピーター・G・ノートハウス、  
ローレル・L・ノートハウス著  
信友浩一、萩原明人共訳  
九州大学出版会 1998  
〔医学分館 W 84 / N 96 / 1998 〕

### 〔文学部〕

今井源衛（文学部名誉教授）  
「大和物語評釈」上巻  
今井源衛著  
笠間書院 1999  
〔文学部図書室 国文 / 17C / 14 〕

九州大学附属図書館ホームページから図書館資料の所蔵検索ができます。

<http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/index-j.html> に接続してください。

OPAC：九州大学が所蔵する図書・雑誌の蔵書検索

Webcat：全国の大学図書館が所蔵する図書・雑誌の蔵書検索

OVID：Current Contents、MEDLINE、ERIC、PsycLIT の論文検索（利用申請が必要です）

NSCDNet：CA 12CI 13CI on CD、医学中央雑誌、雑誌記事索引等の論文検索（学内から利用できます）

Web of Science SCI：引用索引データベース検索（学内から利用できます）

九州大学附属図書館報「図書館情報」 Vol. 35, No. 1（通巻191号）

編集発行 九州大学附属図書館 1999年6月30日

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号 電話 092 642-2336（ダイヤルイン）